

## 追加機能（シスログ、UPnP）について

このたびは、弊社製品（WN-B11/BBRH）をお買い上げいただきありがとうございます。  
本製品には、以下の機能が追加されています。

### シスログ（SYSLOG）を設定する

[設定メニュー]の[管理者設定]に[シスログ]が追加されています。

[シスログ]設定では、“WN-B11/BBRHで発生したイベントの情報（システム・ログ情報）を転送するパソコン”のプライベートIPアドレスを指定します。

シスログを受信するためには、シスログサーバーソフトウェアが必要です。

（インターネット上で、フリーウェアをダウンロードできます。）

なお、指定するIPアドレスは固定IPアドレスとしてください。（DHCPで割り当てる範囲外のIPアドレスとしてください。）

管理者設定	
<b>管理者パスワード設定</b>	
現在のパスワード	<input type="text"/>
新しいパスワード	<input type="text"/>
新しいパスワード再入力	<input type="text"/>
	OK クリア
管理者タイムアウト時間	600 秒 (“0”に設定すると無効になります)
セキュアホスト	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 0.0.0.0
DMZホスト	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 192.168.0.
シスログ	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 192.168.0.

#### シスログ

有効にした場合は、ログを転送するパソコンのIPアドレスを入力します。

## Windows Messenger対応について

WN-B11/BBRHではユニバーサルプラグアンドプレイ (UPnP) 機能を使用し、下記に対応しております。

Windows XPのWindows Messenger (Ver.4.6以上)

Windows MeのMSN Messenger (Ver.4.6以上)

UPnPを使用するときは、最新のアプリケーションをご利用ください。

### Windows XPのWindows Messengerを利用する

UPnP機能を有効にして、Windows Messengerを利用すると、「インスタントメッセージの送信」以外に、「ファイルの送信」「ホワイトボード」「ビデオチャット」「音声チャット」がお楽しみいただけます。

### Windows MeのMSN Messengerを利用する

UPnP機能を有効にして、MSN Messengerを利用すると、「インスタントメッセージの送信」以外に、「ファイルの送信」「音声チャット」がお楽しみいただけます。



#### **注意！**

以下のような環境の場合、UPnP機能を使用してもWindows Messengerの一部機能しかご利用できませんのでご注意ください。

- ・プロバイダから、プライベートIPアドレスを割り当てられている場合
- ・ルータ機能内蔵タイプのADSLモデムに接続して使用する場合

Windows Messenger、MSN Messengerの使用方法については、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

## UPnPを設定する

WN-B11/BBRHは常にUPnP機能が有効になっていますが、Windows XP/Meで下記設定をする必要があります。

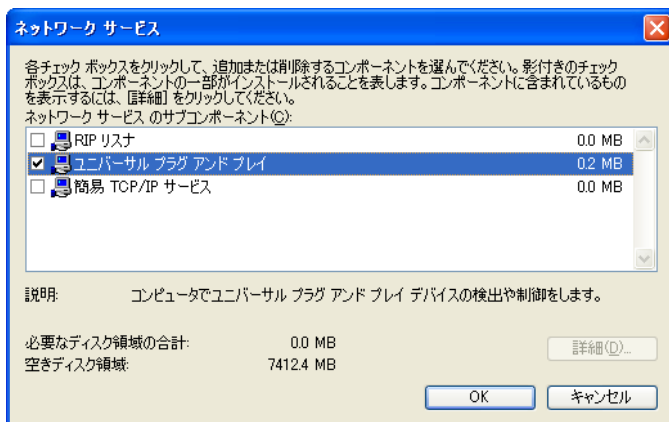
### Windows XPの場合

[スタート] [コントロールパネル]をクリックします。

[プログラムの追加と削除]を開き、[Windowsコンポーネントの追加と削除]を開きます。

[ネットワークサービス]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。

[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



「Windowsコンポーネントウィザード」に戻りますので[次へ]ボタンをクリックします。

ウィザードが完了したら[完了]をクリックします。

これでUPnP機能は有効になります。

## Windows Meの場合

マイクロソフト株式会社の指示にしたがい、DirectX8.1以降をインストールしてください。

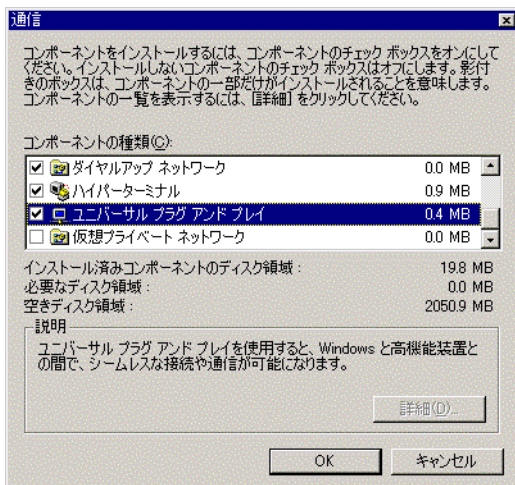
DirectXについてはマイクロソフト株式会社にお問い合わせ下さい。

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックします。

[アプリケーションの追加と削除]を開き、[Windowsファイル]タブを開きます。

[通信]を選び、[詳細]ボタンをクリックします。

[ユニバーサルプラグアンドプレイ]にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。



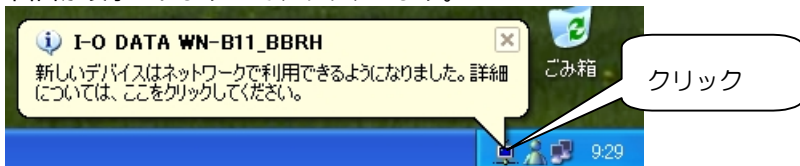
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]に戻りますので[OK]をクリックします。

これでUPnP機能は有効になります。

## UPnPを確認する

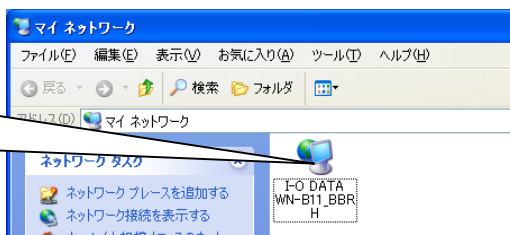
確認方法はWindows XP、Windows Me共通です。（説明はWindows XPの例です。）

UPnP機能が有効になると、ネットワーク上のWN-B11/BBRHが検出され以下の画面が表示されますのでクリックします。



「I-O DATA WN-B11\_BBRH」アイコン上で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

右クリックして、  
表示されたメニューから  
[プロパティ]をクリック



下の画面が表示されていたら、正常にWN-B11/BBRHが認識されています。

正常に認識されていない場合は、【 UPnPを設定する 】をご覧の上、設定をご確認ください。

